

2004 年度 学長裁量経費（プロジェクト経費）実施報告書

テーマ	I Tを利用した学校危機管理および防災対策プロジェクト		
代表者及び共同研究者名 (代表者に○印)	氏 名	所属部局講座等	役割分担
	○神谷 孝男 米田 吉孝 杉浦 正好 高橋 岳之 酒井 宏明 岡田 守 原田 憲一 小島 寛史 福井 信也	学校教育講座(校長) 附属図書館長 英語教育講座 情報教育講座 副校長 教頭 教務主任 校務主任 情報担当 安全担当	代表 システム構築 総務 企画,連絡,調整,HP 管理 企画, 運営 会計, 備品消耗品管理 実務管理, HP 管理
<p>◎研究成果の概要</p> <p>○平成17年1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内にて, 概要説明(教務主任) ・今後の方針決定 <p>○平成17年2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進校(岐阜大附属小中)より情報収集。 ・TRメールについての共通理解を職員会議で図る。 ・TRメールの代わりに大学の情報教育講座の協力を得て, システム構築を図ることを確認。 ・PTA役員会, 学校評議員会で了承を得る。 <p>○平成17年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西門に防犯カメラ, 事務室に4局カメラ管理システムを導入。 ・メールシステムの素案提示 <p>○平成17年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPに緊急連絡コーナーを新設 <p>○平成17年5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校付近不審者出没に対する対応(HP, 連絡網) ・安全通信「ふぞくっ子タイムズ」発行 <p>○平成17年6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対するアンケートの検討 希望者の把握 希望者の受信環境(機種, アドレス管理等)の把握 <p>○平成17年9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験運用開始 <p>○平成17年10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格運営開始 <p>◎運営開始後の状況</p>			

1 導入について

従来行っていた緊急連絡方法の電話による連絡網はなかなか連絡がつきにくいという問題があった。共働きの家庭が増えたり、核家族化が進み、家庭に昼間、保護者が在宅しないこともあり、保護者の間でも、解決方法を探っているのが現状であった。

そこで、そういった問題を解消できないか、少しでも親の不安を少なくすることできないかと考え、現在情報伝達ツールとして保護者が最も利用していると思われる携帯電話のメール機能に着目した。

当初は、岐阜大附属小で導入しているシステムを開発した業者に委託し、本校へも取り入れる方向で話が進んでいた。しかし、学長裁量経費プロジェクトとして採用されたことをきっかけに、本学情報教育講座の高橋岳之先生と情報交換をするなかで、本講独自のシステムを大学と協力して開発し、運用することができる見通しができた。高橋ゼミの協力のもと、システムの開発は大学で、運用その他のモニターとして附属岡崎小があたること形で、システムが整備されていった。

2 システムの概要

次のような文書を配布し、システムの概要と手続きを保護者に周知した。

★どんなメールが届く？

台風情報（授業の予定）や不審者に関する情報、学校行事の連絡（実施の有無、帰着情報など）が届きます。差出人は、「op-mailsystem」という名前です。

アドレスは、op1@m.op.aichi-edu.ac.jp やop2@m.op.aichi-edu.ac.jp など、記事により、アドレスの@の前が変更されます。

件名は、「op001: (緊急) 不審者に注意」や「op002: (お知らせ) 附小短信」など、opの後ろに3桁の通し番号が入り、その後ろに（緊急）か（お知らせ）が入ります。

★メールが届いたら

メールを確認したら、そのまま返信(空メール)して下さい。その返信したメールがシステムに届くことで、メールを読まれたかどうかの確認とさせていただきます。

なお、複数のメールアドレスを登録されている方は、いずれかのメールひとつに返信していただければ結構です。

★緊急のメールを確実に届けるために

週に一度、月曜の午前中に「附小短信」をお届けします。これは、定期的にメールをお送りすることで、緊急時のメールをできるだけ確実に送り出すために行うものです。もし、この定期的なメールが届かなくなったりした場合は、op@m.op.aichi-edu.ac.jp宛にメールしていただくか、小学校の担当者にご連絡ください。

★メールアドレスが変わったときは

携帯電話の買い換え等で、メールアドレスを変更された場合など、送り先のアドレスを変更する場合は、以下の手順で処理をお願いします。

- ① 新しいアドレスから、op@m.op.aichi-edu.ac.jpにメールを出します。
件名(Subject)：メールアドレス変更
本文：今まで利用していたメールアドレス・学年・組・番号・氏名
- ② 数日中に、学校側より変更確認の書面をお送りします。内容を確認し、必要事項を記入した後、学校側へお戻し下さい。
- ③ 書類の確認が完了した時点で、送信先のメールアドレスの変更を行います。

3 保護者へのアンケートと改善

本校の保護者にアンケートをとることにより、問題点の把握と改善を図った。アンケートは保護者全員を対象とし、集計、改善は高橋ゼミに依頼した。以下がアンケート集計の抜粋である。

A システムに対しての評価

- | | |
|------------------------|--------------|
| ① 非常によかった。 | 74.6% (317人) |
| ② よいと思うが改善点が必要だ。 | 21.9% (93人) |
| ③ 期待はずれであった。特に必要ないと思う。 | 1.2% (5人) |
| ④ その他 | 1.0% (4人) |
| ⑤ 無回答 | 1.4% (6人) |

- ・緊急でないものの配信は不要である
- ・返信が面倒である
- ・メールが長い
- ・送信アドレスが多いので困る
- ・件名に問題あり（緊急という内容にそったものにしてほしい）
- ・先生を身近に感じられてよい

B このシステムは役に立つと感じたか？（システムの有用性）

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 非常にそう思う。 | 72.2% (307人) |
| ② 少しそう思う。 | 25.0% (106人) |
| ③ あまりそう思わない。 | 1.4% (6人) |
| ④ 全くそう思わない。 | 0.2% (1人) |
| ⑤ 無回答 | 1.2% (5人) |

C 電話連絡とどちらがいいか。

- | | |
|-----------|--------------|
| ① 電話連絡 | 4.9% (19人) |
| ② メールでの連絡 | 95.1% (369人) |
| ③ 無回答 | 8.7% (37人) |

○メールがよいと答えた理由

- ・どこでも受け取ることができる。
- ・文章として残るため確認しやすい。
- ・時間がかからない
- ・内容が確実に伝わる
- ・電話連絡とメール連絡両方がよい

○電話連絡がよいと答えた理由

- ・メールは遅れて届くことがあり不安である。
- ・保護者間の交流だから

D 不安に感じていること

- ・メールが送れて届くことがある。
- ・見ることが遅れる。
- ・災害時にシステムが動くか。
- ・もっと早くメールがほしい
- ・ウィルス感染
- ・受信設定していないアドレスを使用されてしまうこと

4 成果と今後の課題

今後も、大学と協力し、システムの改善を図り、保護者にとって使い勝手のよい配信メールをめざしたい。アドレス管理やアドレス収集、データ入力等大学に負担を負っていただく面が多いが、順調な滑り出しをすることができた。